

令和7年度 津市立白山中学校 第2学年 技術科 シラバス

教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換 及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第1学年 技術

1 目標

生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価基準と評価の方法

知識・技能	定期テスト、学習プリント等における記述、製作活動で適切な作業を行っているか等の観察。
思考力・判断力・表現力	定期テスト、学習プリント等における論述や、製作活動における課題解決能力。
主体的に学習に取り組む態度	授業中における発言や行動の観察、授業のふりかえりにおける記述。

3 使用教材

- 教科書 東京書籍「新しい技術・家庭（技術分野）未来を創る Technology」
- 技術・家庭ノート技術分野

4 学習方法についてのアドバイス

○学校

- 授業において、問われた内容や自分の考えを具体的に説明できるようにする。
- 安全・適切な作業ができるようグループで協力する。

○家庭

- ・授業で学習したことが生活や社会でどのように活用されているか意識する。
- ・学習した内容を自らの言葉で説明できるようにする。

5 年間学習指導計画

月	単元となる学習内容	観点別評価基準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの情報の技術 ・情報セキュリティ ・情報モラル, 知的財産の保護 ・コンピュータの構成 ・情報のデジタル化のしくみ ・情報通信ネットワークのしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現, 記録, 計算, 通信などについての科学的な原理・法則や, 情報のデジタル化, 処理の自動化, システム化などに関わる基礎的な技術の仕組みを理解できる。 ・情報通信ネットワークの構成と, 情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 <p>◇ワークシート, 定期試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの情報の技術に込められた工夫を読み取り, 情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 <p>◇ワークシート, 定期試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報の技術と関わり, 主体的に理解し, 技能を身に付けようとしている。 <p>◇授業観察, 振り返り</p>
9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータによる機器の制御のしくみ ・プログラムの構造と表現 ・計測・制御の技術による問題の解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適切なプログラミングの制作, 動作の確認及びデバッグ等ができる。 <p>◇ワークシート, 作品, 定期試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の手順を図に表すことができる。 ・技術の見方・考え方を働かせて, 問題を発見し, 自分なりの課題を設定することができる。 ・制作工程表に基づき, 設計と実際の動作を確認しながら合理的な解決作業を具体化することができる。 <p>◇ワークシート, 作品,</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働して, 粘り強く取り組もうとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって, 知的財産を創造するとともに, 他者のアイデアを尊重し, それらを保護・活用しようとしている。 <p>◇授業観察, 振り返り</p>

			定期試験	
12 1 2	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングによる問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適切なプログラミングの制作，動作の確認及びデバッグ等ができる。 ◇ワークシート，作品，定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の手順を図に表すことができる。 ・技術の見方・考え方を働かせて，問題を発見し，自分なりの課題を設定することができる。 ・制作工程表に基づき，設計と実際の動作を確認しながら合理的な解決作業を具体化することができる。 ◇ワークシート，作品，定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって，知的財産を創造するとともに，他者のアイデアを尊重し，それらを保護・活用しようとしている。 ◇授業観察，振り返り
3	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術が生活や社会に果たす役割や影響を踏まえ，情報の技術の最適化について説明できる。 ◇ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を目指して，情報の技術を評価し，適切な選択，管理・運用の仕方について提言できる。 ◇ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を目指して，情報の技術を工夫し，創造していこうとしている。 ◇授業観察，振り返り